

**令和7年度脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業費補助金
補助対象設備個票作成ガイドブック**

令和7年12月24日

愛媛県 県民環境部 環境局 環境・ゼロカーボン推進課

目次

1. 目的	2
2. 個票概要	2
3. 個票の選択方法	2
4. 個票の記入方法	4
(1) A. 省エネルギー設備用	4
a. 基本情報	4
b. 事業による導入量	4
c. CO2 削減量に関する諸情報	5
d. 結果（二酸化炭素（CO2）の排出削減効果）	10
(2) B. 創エネルギー設備用	11
a. 基本情報	11
b. 事業による導入量	11
c. 発電量等に関する諸情報	13
d. 結果（二酸化炭素（CO2）の排出削減効果）	14
(3) C. 蓄エネルギー設備用	15
a. 基本情報	15
b. 事業による導入量	15
c. 蓄電池に関する諸情報	17
d. 結果（二酸化炭素（CO2）の排出削減効果）	17

1. 目的

令和7年度脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業費補助金において、補助金の申込を行う及び採択を受けた事業者は、各種申込及び申請の際に二酸化炭素（CO2）の排出削減効果を定量的に明示することが求められている。一方で、二酸化炭素（CO2）の排出削減効果の統一的な算定手法は、事業者にとって難易度が高い作業となることから、「令和7年度脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業費補助金補助対象設備個票作成ガイドブック」（以下「本ガイドブック」と略す。）を用いて、算定手法の統一化及び効率化を図るものである。

2. 個票概要

本ガイドブックは以下の3つの個票から構成されている。選択方法は**3. 個票の選択方法**に記載する。

- ・ **A. 省エネルギー設備用** 省エネルギー設備に入れ替える事業等の場合
 （例）空調設備、照明、冷蔵冷凍機、ボイラ、換気設備、コンプレッサ、エネルギーマネジメントシステム 等
- ・ **B. 創エネルギー設備用** 再生可能エネルギー発電設備の導入事業の場合
 （例）太陽光発電設備、バイオマス発電設備 等
- ・ **C. 蓄エネルギー設備用** 蓄電設備の導入事業の場合
 （例）蓄電設備

3. 個票の選択方法

本補助金を申請しようとする設備が、以下(1)～(4)のどのパターンかご確認のうえ、必要な個票の種類を確認してください。

(1) 省エネルギー設備のみ

└必要な個票：A. 省エネルギー設備用

(2) 省エネルギー設備＋創エネルギー設備

└必要な個票：A. 省エネルギー設備用、B. 創エネルギー設備用

(3) 省エネルギー設備＋創エネルギー設備＋蓄エネルギー設備

└必要な個票：A. 省エネルギー設備用、B. 創エネルギー設備用、C. 蓄エネルギー設備用

(4) 省エネルギー設備＋蓄エネルギー設備

└必要な個票：A. 省エネルギー設備用、C. 蓄エネルギー設備用

本補助金を申請しようとする設備種類*が複数となる場合は、各設備の種類ごとに該当する個票を作成してください。

本補助金を申請しようとする設備の設置場所が複数となる場合は、各設置場所ごとに該当する個票を作成してください。

参考に申請例を記載します。

※ 設備種類が同一で型式が異なる場合は、同一の個票で作成してください。

＜参考例＞申請パターン例

例 1) 空調設備の更新と太陽光発電設備の導入事業を同一設置場所で行う場合

No.	導入機器	台数	設置場所	使用個票	個票枚数
1	空調設備	1 台	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
2	太陽光発電設備	1 式	a 地点	B. 創エネルギー設備用	1 枚

例 2) LED照明化と太陽光発電設備及び蓄電設備の導入事業を複数設置場所で行う場合

No.	導入機器	台数	設置場所	使用個票	個票枚数
1	LED照明	1 式	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
2	太陽光発電設備	1 式	b 地点	B. 創エネルギー設備用	1 枚
3	蓄電設備	5 式	b 地点	C. 蓄エネルギー設備用	1 枚

例 3) 空調設備の更新と蓄電設備の追加導入事業※を同一設置場所で行う場合

※既存設置の自家消費型太陽光設備あり

No.	導入機器	台数	設置場所	使用個票	個票枚数
1	空調設備	6 台	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
2	蓄電設備	20 式	a 地点	C. 蓄エネルギー設備用	1 枚

例 4) 空調設備及び冷蔵冷凍設備の更新事業を同一設置場所で行う場合

No.	導入機器	台数	設置場所	使用個票	個票枚数
1	空調設備	6 台	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
2	冷蔵冷凍設備	1 台	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚

例 5) LED照明化事業を複数設置場所で行う場合

No.	導入機器	台数	設置場所	使用個票	個票枚数
1	LED照明	100 式	a 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
2	LED照明	50 式	b 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚
3	LED照明	30 式	c 地点	A. 省エネルギー設備用	1 枚

4. 個票の記入方法

(1) A. 省エネルギー設備用

a. 基本情報

【別添A】	
令和7年度脱炭素ビジネススタイル転換促進事業費補助金 補助対象設備個票	
A. 省エネルギー設備用	
① 事業者名	〇×工業株式会社

① 事業者名

事業者名を記載してください。

b. 事業による導入量

事業による導入量			
① 取組みの内容	事業所のLED照明切替	個票番号	A 1 ②
取組みの内容を記入してください。 設置場所の住所を記入してください。 作成した個票ごとに番号を付与してください。			
③ 設置場所	〒 100-6975 東京都 〇〇市 △〇町1-1		
④ 区分	選択してください 機器・システムの更新の場合は「更新」、施設の新設、または設備の更新ではない場合は「新設」を選択してください。		
⑤ 既存設備	従来機器・システムの名称	白熱電球・蛍光灯	
	メーカー名	白熱電球(〇〇製) 蛍光灯(〇〇製)	
	設備の型番及び台数	L××××(20台)	
⑥ 補助対象設備	導入する機器・システムの名称	LED照明	
	メーカー名	〇〇製	
	設備の型番及び台数	L××××(20台)	

⑤ 既存設備の注釈: 導入する機器・システムおよび、その比較対象とする従来の機器・システムの名称やメーカー名等を記載してください。
 ※設備の型式及び台数について、特に取まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございません。

① 取組みの内容

本個票での取組みの内容を記載してください。

② 個票番号

作成した個票ごとに番号を付与してください。

例) 空調設備と冷蔵冷凍機器の更新で個票「A. 省エネルギー設備用」を2部作成する場合、空調設備の更新は「A 1」、冷蔵冷凍機器の更新は「A 2」と記載

③ 設置場所

本取組み内容を実施する場所(設置場所)の所在地を記入してください。

複数の設置場所を実施する場合、個票を分けて作成してください。

④ 区分

機器・システムの更新の場合は「更新」、機器・システムの新設の場合は「新設」を選択してください。

⑤ 既存設備 ※機器・システムを「新設」する場合は入力不要

更新対象となる既存の機器・システムの名称やメーカー名、設備の型式及び台数を記載してください。

※枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑥ 補助対象設備

導入する機器・システムの名称やメーカー名、設備の型式及び台数を記載してください。

導入する機器・システムの名称については、実施計画書（別紙1―3）に転記してください。

※枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

c. CO2 削減量に関する諸情報

CO2削減量に関する諸情報		
① 稼働負荷・活動量	例)点灯時間が2,205h/年 算出式:98時間/1日×(365日-120日)≒2,205h/年	導入前後における機器・システムの業務負荷・活動量(稼働時間、稼働率等)と設定根拠を記載してください。
② 稼働負荷・活動量の設定根拠	例)98時間/1日 会社年間休日:120日の条件で算出	
③ 確認事項①	選択してください	本設備の使用時間が1日あたり9時間を超えますか。 ※ 該当する場合は、始業及び終業の時刻が確認できる資料(就業規則等)を添付すること

① 稼働負荷・活動量

設置場所における機器・システムの業務負荷・活動量（稼働時間、稼働率等）を記載してください。

※枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

② 稼働負荷・活動量の設定根拠

設置場所における機器・システムの業務負荷・活動量（稼働時間、稼働率等）の設定根拠を記載してください。

③ 確認事項①

機器・システムの使用時間が1日あたり9時間を超える場合は、「該当あり（資料添付済み）」を選択し、始業及び終業の時刻が確認できる資料（就業規則等）を添付してください。

また、機器・システムの特性上、24時間稼働が前提である機器・システム（冷蔵冷凍設備等）については、資料の添付は不要ですので、「該当あり（添付不要）」を選択してください。

導入前の年間エネルギー消費量の算出方法を「既存設備・施設の実測データ」、「既存設備・施設の性能より推計」、「仮想設備（現在の平均的な販売設備）の性能より推計」より選択してください。なお、施設全体の電力量から按分している場合、「既存設備・施設の実測データ」を選択してください。

④	エネルギー消費量の算出方法 (複数選択可能)	<input type="checkbox"/> 既存設備・施設の実測データ <input type="checkbox"/> 既存設備・施設の性能より推計 <input type="checkbox"/> 仮想設備（現在の平均的な販売設備）の性能より推計	従来の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。 また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。
⑤	性能	例)○白熱電球:3種類使用 ①88W(5本)、②100W(10本) ○蛍光灯:2種類使用 ③60W(5本)	
⑥	性能値の設定根拠・引用元	例)白熱電球①88W:○×会社のカタログ(カタログA-1) ②100W:○×会社のカタログ(カタログA-2) 蛍光灯 ③60W:○×会社のカタログ(カタログA-3)	
⑦	従来設備	例)白熱電球 ①:0.088kW×5本=0.44kW (カタログA-1参照) ②:0.1kW×10本=1kW (カタログA-2参照) 蛍光灯 ③:0.06kW×5本=0.3kW (カタログA-3参照) 合計:1.74kW $1.74\text{kW} \times 2,205\text{h/年} = 3,836.7\text{kWh}$	計算式を記載すること ※1 能力別に計算すること ※2 経年劣化は考慮しないこと
⑧	確認事項②	選択してください	既存設備のカタログ、仕様等、計算で利用した各数値の根拠資料を添付しましたか。 ※1 該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。 ※2 添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。
⑨	確認事項③	選択してください	既存設備の更新の場合、設備外観写真と銘板(型式、能力が分かるもの)等の写真台帳を添付しましたか。 ※1 1つの設備に対し、外観写真と銘板(型式等が確認できるもの)の写真は必須 ※2 同じ型式を複数台(又は本数)申請する場合は、代表箇所のみで可

＜既存設備＞ ※機器・システムを「新設」する場合は入力不要

④ エネルギー消費量の算出方法

既存の機器・システムの年間エネルギー消費量の算出方法を「既存設備・施設の実測データ」、「既存設備・施設の性能より推計」、「仮想設備（現在の平均的な販売設備）の性能より推計」より該当する項目を選択し、「■」にしてください。（複数選択可能）

※複数選択可能とは、例えば、LED照明化において、既存設備が蛍光灯と水銀灯の更新であって、蛍光灯は仕様書を添付できるが、水銀灯は古すぎて書面が確認できず類似品で推計する場合、「既存設備・施設の性能より推計」、「仮想設備（現在の平均的な販売設備）の性能より推計」を選択してください。

- ・「既存設備・施設の実測データ」とは、施設全体の電力量から按分している場合や個別メーターを設置し、既存設備の電力量を根拠とするもの
- ・「既存設備・施設の性能より推計」とは、完成図書、仕様書、カタログ等の書面を根拠とするもの
- ・「仮想設備（現在の平均的な販売設備）の性能より推計」とは、既存設備が古すぎるなどの理由により上記2点を根拠とすることができない場合に、類似品の設備能力を根拠とするもの

⑤ 性能

既存の機器・システムの性能を記載してください。

また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。

※ 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑥ 性能値の設定根拠・引用元

既存の機器・システムのエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。

また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。

※ 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑦ 計算式

上記で示した根拠を基に導入前の年間エネルギー消費量を算出する計算式を記載してください。計算結果は⑭年間エネルギー消費量（導入前）の欄に記載してください。

※ 1 機器別、能力別に計算する等工夫してください。

※ 2 経年劣化は考慮しないものとして算出したので差支えありません。

※ 3 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑧ 確認事項②

既存の機器・システムのカタログ、仕様等、計算で使用了各数値の根拠資料を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の2点に十分注意してください。

- ・該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
- ・添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。

⑨ 確認事項③

既存の機器・システムの更新の場合、設備外観写真と銘板（型式、能力が分かるもの）等の写真台帳を添付し「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の2点に十分注意してください。

- ・1つの設備に対し、外観写真と銘板（型式等が確認できるもの）の写真は必須
- ・同じ型式を複数台（又は本数）申請する場合は、代表箇所のみで可

⑩ ⑪ ⑫ 導入設備	性能	例)3種類のLED照明を導入。 ①58W(5本)、②62W(10本)、③30W(5本)	導入後の機器・システムの性能とエネルギー消費量の設定根拠を記載してください。 また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。
	性能値の設定根拠・引用元	例) ①58W:○×会社のカタログ(カタログB-1) ②62W:○×会社のカタログ(カタログB-2) ③30W:○×会社のカタログ(カタログB-3)	
	計算式	例)LED照明 ①:0.058kW×5本=0.29kW(カタログB-1参照) ②:0.062kW×10本=0.62kW(カタログB-2参照) ③:0.03kW×5本=0.15kW(カタログB-3参照) 合計:1.06kW $1.06\text{kW} \times 2,205\text{h/年} = 2337.3\text{kWh}$	
⑬ 確認事項④	選択してください	導入設備のカタログ、仕様等、計算で使用了各数値の根拠資料を添付しましたか。 ※1 該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。 ※2 添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。	

＜導入設備＞

⑩ 性能

導入する機器・システムの性能を記載してください。

また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。

※ 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑪ 性能値の設定根拠・引用元

導入する機器・システムのエネルギー消費量の設定根拠・引用元を記載してください。

また、通し番号を付与する等、添付する書類との紐づけを行ってください。

※ 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑫ 計算式

上記で示した根拠を基に導入後の年間エネルギー消費量を算出する計算式を記載してください。計算結果は⑬年間エネルギー消費量（導入後）の欄に記載してください。

※1 機器別、能力別に計算する等工夫してください。

※2 枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑬ 確認事項④

導入する機器・システムのカatalog、仕様等、計算で使した各数値の根拠資料を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の2点に十分注意してください。

- ・該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
- ・添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。

⑭

⑮

事業開始前のベースラインとなる年間エネルギー消費量を記載してください。
 事業開始後の年間エネルギー消費量を記載してください。

エネルギー種別	年間エネルギー消費量			排出係数		年間CO2削減量	
	導入前	導入後	単位				
商用電力	0.00	0.00	kWh/年	0.457	kg-CO2/kWh	0	kg-CO2/年
都市ガス	0.00	0.00	Nm³/年	2.361	kg-CO2/Nm³	0	kg-CO2/年
輸入一般炭	0.00	0.00	kg/年	2.33	kg-CO2/kg	0	kg-CO2/年
LPG	0.00	0.00	kg/年	2.99	kg-CO2/kg	0	kg-CO2/年
LNG	0.00	0.00	kg/年	2.79	kg-CO2/kg	0	kg-CO2/年
灯油	0.00	0.00	L/年	2.50	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
A重油	0.00	0.00	L/年	2.75	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
B・C重油	0.00	0.00	L/年	3.10	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
揮発油(ガソリン)	0.00	0.00	L/年	2.29	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
軽油	0.00	0.00	L/年	2.62	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
ジェット燃料	0.00	0.00	L/年	2.48	kg-CO2/L	0	kg-CO2/年
水素	0.00	0.00	Nm³/年	0.00	kg-CO2/Nm³	0	kg-CO2/年
その他1	0.00	0.00	●/年	0.00	kg-CO2/●	0	kg-CO2/年
その他2	0.00	0.00	■/年	0.00	kg-CO2/■	0	kg-CO2/年
合計						0	kg-CO2/年

所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、その他の項目にエネルギー種別の名称を記載し、導入前後の年間エネルギー消費量と排出係数を記入してください。水素については、初期値は0としていますが、可能な範囲でライフサイクルでの排出係数を記入してください。

⑯

排出係数の設定根拠

所定のエネルギー種別以外のエネルギーを使用する場合は、設定根拠を記載してください。

⑭ 年間エネルギー消費量（導入前）※機器・システムを「新設」する場合は入力不要

導入前のベースラインとなる年間エネルギー消費量を記載してください。

⑦計算式の結果数値と一致するよう記載いただくようご注意ください。

⑮ 年間エネルギー消費量（導入後）

導入後の年間エネルギー消費量を記載してください。

⑫計算式の結果数値と一致するよう記載いただくようご注意ください。

⑯ 排出係数（水素）

水素の排出係数を使用する場合、ライフサイクルでの排出係数を記入してください。

※不明である場合は、初期値の「0」～変更しないこととします。

⑰ エネルギー種別（その他）

設置している項目に該当するエネルギー種がない場合は、「名称」、「消費量」、「排出係数」、「排出係数の単位」を記入してください。

排出係数については、「●」、「■」を適切な単位に変更してください。

⑱ 排出係数の設定根拠

エネルギー種別（その他）を入力した場合は、設定根拠を記載してください。

d. 結果（二酸化炭素（CO₂）の排出削減効果）

結果(二酸化炭素(CO ₂)の排出削減効果)		
①	年間CO ₂ 削減量	0.00 [t-CO ₂ /年]

① 年間 CO₂ 削減量

年間 CO₂ 削減量が自動算出されますので、実施計画書（別紙 1－3）に転記してください。

a. 基本情報

① 取組みの内容

② 個票番号

太陽光発電設備を異なる設置場所で実施する等、個票「B.創エネルギー設備用」を複数部作成する場合、作成した順に「B 1」、「B 2」...と記載

③ 設置場所

異なる設置場所で実施する場合、個票を分けて作成してください。

④ 導入する機器・システムの名称

実施計画書（別紙１―３）の補助対象設備（導入する機器・システム）の欄にも転記してください。

⑤ 補助対象設備概要（製品名・型式・メーカー・台数）

補助対象設備の概要について、記載してください。

複数の機器・システムを導入する場合は、全ての機器・システムの情報（製品名・型式・メーカー・台数）を記載してください。

なお、ケーブル、配管、架台等は記載不要です。

※ 機器・システムの型式及び台数について、枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑥ 確認事項①

導入する機器・システムのカタログ、仕様書、図面等の根拠資料を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の２点に十分注意してください。

- ・該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
- ・添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。

⑦ 設備容量

補助対象となる機器・システムの「設備容量」を記入してください。

単位には十分に注意してください。

⑧ 確認事項②

設備容量の根拠資料（カタログ、仕様等）を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

※ 該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。

c. 発電量等に関する諸情報

発電量等に関する諸情報			
【発電量】			
①	年間発電電力量	0 [kWh/年]	対象となる発電システムの想定される年間発電電力量をご記入ください。 有効活用されない発電量については差し引いてご記入ください。
	電力の排出係数	0.457 [kgCO ₂ /kWh]	
②	発電量等に関する 設定根拠概要	例)設置地域の日射量(NEDO日射量データベースより)と機器効率(ABC電気社の製品カタログ)より推計。 計算式やシミュレーションなど記載	
「年間発電電力量」の設定根拠概要を記載し、「年間発電電力量」の算出資料を添付してください。			
③	確認事項③	選択してください	年間発電電力量の根拠資料(計算書、シミュレーション、カタログ、仕様等)を添付しましたか。 ※ 電力量等、重要な箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
④	確認事項④	選択してください	本再生可能エネルギー発電設備は、自家消費型(当該発電設備から得たエネルギーの売電契約を行わず、自ら消費するもの)ですか。
⑤	確認事項⑤	選択してください	本再生可能エネルギー発電設備は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第9条第4項に基づく固定価格買取(FIT)制度又はFeed in Premium(FIP)制度の認定を受けましたものです。

① 年間発電電力量

対象となる機器・システムの想定される年間発電電力量をご記入ください。

有効活用されない発電量（需要量を上回る余剰電力量）については差し引いてご記入ください。

② 発電量等に関する設定根拠概要

計算式やシミュレーションなど記載することにより、「年間発電電力量」の設定根拠概要を記載し、「年間発電電力量」の算出資料を添付してください。

③ 確認事項③

年間発電電力量の根拠資料（計算書、シミュレーション、カタログ、仕様等）を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の点に十分注意してください。

※ 電力量等、重要な箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。

④ 確認事項④

本再生可能エネルギー発電設備は、自家消費型（当該発電設備から得たエネルギーの売電契約を行わず、自ら消費するもの）であるか確認し、「本設備は自家消費型です。」を選択してください。

⑤ 確認事項⑤

本再生可能エネルギー発電設備は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第9条第4項に基づく固定価格買取（FIT）制度又はFeed in Premium

(FIP) 制度の認定を受けないものか確認し、「本設備は認定を受けません。」を選択してください。

d. 結果（二酸化炭素（CO2）の排出削減効果）

結果(二酸化炭素(CO2)の排出削減効果)		
① 年間CO2削減量	0.00	[t-CO2/年]

① 年間 CO2 削減量

年間 CO2 削減量が自動算出されますので、実施計画書（別紙 1 — 3）に転記してください。

(3) C. 蓄エネルギー設備用

a. 基本情報

【別添○】

令和7年度脱炭素ビジネススタイル転換促進事業費補助金 補助対象設備個票

C.蓄エネルギー設備用

① 事業者名 ○×工業株式会社

① 事業者名

事業者名を記載してください。

b. 事業による導入量

事業による導入量				
①	取組みの内容	自家消費型太陽光発電システムの新規設置に伴う蓄電設備の導入		② 個票番号 C 1
取組みの内容を記入してください。		設置場所の住所を記入してください。		作成した個票ごとに番号を付与してください。
③	設置場所	〒 790-8570 愛媛県 ○○市 △○町1-1		
④	導入する機器・システムの名称	自家消費型太陽光発電システム		
⑤	補助対象設備概要 (製品名・型式・メーカー・台数)	○製品名 : 鉛蓄電池 ○型式 : L××××× ○メーカー : ABC電気製 ○台数 : 20基		
⑥	1基当たりの蓄電池の容量	0.0 kWh	導入設備数	0 基
⑦	確認事項①	選択してください		

複数の機器・システムを導入する場合は、機器・システムの名称を選択してください。

複数の機器・システムを導入する場合は、全ての機器・システムの情報(製品名・型式・メーカー・台数)を記載してください。
なお、ケーブル、配管、架台等は記載不要です。

導入設備のカタログ、仕様等、計算で使用了各数値の根拠資料を添付しましたか。
※1 該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
※2 添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。

① 取組みの内容

本個票での取組みの内容を記載してください。

② 個票番号

作成した個票ごとに番号を付与してください。

蓄電設備を異なる設置場所や異なる蓄電池の種類等、個票「C. 蓄エネルギー設備用」を複数部作成する場合、作成した順に「C 1」、「C 2」,,,と記載

③ 設置場所

本取組み内容を実施する場所(設置場所)の住所を記入してください。

複数の事業所で実施する場合、個票を分けて作成してください。

④ 導入する機器・システムの名称

導入する機器・システムの名称を記載してください。

実施計画書(別紙1ー3)の補助対象設備(導入する機器・システム)の欄にも転記してください。

⑤ 補助対象設備概要（製品名・型式・メーカー・台数）

補助対象設備の概要について、記載してください。

複数の機器・システムを導入する場合は、全ての機器・システムの情報（製品名・型式・メーカー・台数）を記載してください。

なお、ケーブル、配管、架台等は記載不要です。

※設備の型式及び台数について、枠に収まりきらない場合は、「別紙参照」と記載のうえ、別紙を用意しても差支えございませんが、一覧表にまとめる等確認しやすい構成としてください。

⑥ 1基当たりの蓄電池の容量/導入設備数/蓄電池の種類

1基あたりの蓄電池の容量、導入設備数、蓄電池の種類を記載してください。

なお、蓄電池の全量は、「蓄電池1基当たりの容量」に「導入設備数」を乗じた値となる。（例えば、10kWhの蓄電池を3基導入した場合は、全量は30kWhとなる。）

⑦ 確認事項①

導入する機器・システムのカタログ、仕様等、計算で使用了各数値の根拠資料を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の2点に十分注意してください。

- ・該当箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。
- ・添付書類は通し番号を付与する等、本書類との紐づけを行いましたか。

⑧	再エネ発電設備の容量	0.0 kW	時間容量 (蓄電池の全容量÷発電容量)	-	h	再エネ発電設備の容量を入力し、蓄電池の時間容量の妥当性を確認してください。
⑨	確認事項②	選択してください	既存設備へ追加導入の場合は、再エネ発電設備の容量が分かる資料(完成図書、仕様書等)を添付してください。 ※ 本事業において、別途太陽光発電設備を導入する場合は、添付省略			
⑩	確認事項③	選択してください	既存設置の太陽光発電設備は、自家消費型(当該発電設備から得たエネルギーを売電契約を行わず、自ら消費するもの)ですか。			
⑪	確認事項④	選択してください	既存設置の本太陽光発電設備は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第9条第4項に基づく固定価格買取(FIT)制度又はFeed in Premium(FIP)制度の認定を受けられないものですか。			

⑧ 再エネ発電設備の容量/時間容量

本蓄電池に接続する再生可能エネルギー発電設備の容量を記載してください。なお、再生可能エネルギー発電設備の容量に対して、過大な蓄電池の容量を設定しないように留意してください。本事業で設置する蓄電設備の蓄電容量は、再生可能エネルギー発電設備の1日分の発電量と同等又はそれ以下となっています。

⑨ 確認事項②

既存設備へ追加導入の場合は、再生可能エネルギー発電設備の容量が分かる資料（完成図書、仕様書等）を添付し、「資料添付済み（追加導入）」を選択してください。また、本補助金申請において創エネルギー設備を導入する場合は、「別途個票Bを作成（同時導入）」を選択してください。

※ 本事業において、別途太陽光発電設備を導入する場合は、添付省略

<既存設備へ追加導入の場合回答要>

⑩ 確認事項③

既存設置の再生可能エネルギー発電設備は、自家消費型（当該発電設備から得たエネルギーの売電契約を行わず、自ら消費するもの）であるか確認し、「本設備は自家消費型です。」を選択してください。

⑪ 確認事項④

既存設置の再生可能エネルギー発電設備は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第9条第4項に基づく固定価格買取（FIT）制度又はFeed in Premium（FIP）制度の認定を受けないものか確認し、「本設備は認定を受けません。」を選択してください。

c. 蓄電池に関する諸情報

蓄電池に関する諸情報	
蓄電池由来の年間電力消費量	<input type="text"/> kWh
電力のCO2排出係数	0.457 [kgCO2/kWh]
蓄電池由来の年間電力消費量の設定根拠	<input type="text"/>
蓄電池由来の年間電力消費量の設定根拠となるシミュレーション結果を必ず添付し、本記入欄には算出方法の概要を記載してください。	
確認事項⑥	<input type="text"/> 選択してください <div>蓄電池由来の年間電力消費量の設定根拠となるシミュレーション結果を必ず添付してください。</div>

① 蓄電池由来の年間電力消費量/設定根拠

蓄電池由来の年間電力消費量をご記入ください。

その設定根拠となるシミュレーション結果等を添付し、設定根拠欄に算出方法の概要を記載してください。

② 確認事項⑥

蓄電池由来の年間電力消費量の設定根拠となるシミュレーション結果等を添付し、「資料添付済み」を選択してください。

資料を添付する際には、以下の点に十分注意してください。

※ 電力量等、重要な箇所は、マーカーや赤枠で囲う等、確認しやすい処理を施していますか。

d. 結果（二酸化炭素（CO2）の排出削減効果）

結果(二酸化炭素(CO2)の排出削減効果)	
年間CO2削減量	0.00 [t-CO2/年]

① 年間 CO2 削減量

年間 CO2 削減量が自動算出されますので、実施計画書（別紙 1—3）に転記してください。